

女学院内のカメラは学校の生徒用の机に向かって座っている生田アナを捉えていた。

「おはようございます。お代場局アナウンサー、生田陽子です。」

まるで、普段のおめざめテレビと同じような始まりだった。

「こちら、桜葉女学院では、武装集団による占拠が 2 日目となりました。私たちもこの建物の中にいますが、監禁されているとみられる生徒などの様子はわからない状態にあります…」

おめざめテレビで深刻なニュースが起こった時と同じような表情で淡々と、ニュース原稿のようなものを読んでいる。

「うっ、」

ただ、その言葉の合間合間にうめき声とともに顔がゆがむ時がある。

「どうしたんだ、体調でもおかしいのではないか」

そう思った矢先、カメラのズームが引いていき、その原因がはっきりとわかった。

生田アナは机に向かって椅子に座っていると思われていたが、実際には、椅子の高さにある台の上にカメラの方にアタマを向けて仰向けに寝そべった男に下半身を裸にした状態でまたがされていた。

そしてその生田アナの股の間にある茂みの奥には、間違いなく男の肉棒が突き刺さっていた。

カメラによるズームアウトが止まると、横から別の男が現れ、ニュース原稿の乗った机を撤去される。

そして生田アナを跨らせていた男が生田アナが着ていたブラウスのボタンを外し、前をはだけさせる。

命令されていたのか、そこには何も付けていない二つの乳房があらわになった。

大きいらしいといわれていた生田アナのそれだが、実際に大きい。男はその胸を両手で鷲掴みにし、揉みしだく。もちろん、下からの突き上げも忘れてはいない。

「あ、うっ、う、うん…」

突き上げられるたびにこぼれるあえぎ声。最早そこにはまじめなニュースを読む生田アナはいなかった。

そして男はやおら起き上がる。

「さあ、全国の皆さんに、朝の顔の淫乱な一面を見せてあげようじゃないか。」

男はそういうと、生田アナを対面座位の形に抱きかかえ、彼女の尻がカメラに向くように座りなおした。

生田アナは男の首に腕をまわして掴まる。そして、男は下からおめざめテレビの看板アナの穴を下からずんずんと突き上げる。

「あっ、あっ、」

すでに完全にあえぎ声となったものが生田アナの口から漏れてくる。

少し大きめな尻は男にがっちりつかまれ、男の動きに合わせて上下させられる。

カメラはその結合部分をより鮮明に捉えるよう指示されたようだった。卑猥な出入りが電波を介して全国に伝えられていく。

「さあ、そろそろ種付けの時間かな。」

男はそういうと、動きをより一層速めていった。

「いや、中には、中には出さないでください！！」

生田アナの懇願が始まるが、それは当然聞き入れられるわけもない。

ズンと大きく男が生田アナの奥底をつくると、動きが止まった。いや、実際には痙攣のような動きだけが残っていた。

「いやー！」

生田アナの子宮に精液が流し込まれた瞬間だった。

男はしばし余韻に浸ったあと、膝の上から生田アナをおろす。生田アナの股間からは白いものが流れ出す。

「さあ、もう一つコーナーがあっただろう。それを始めないと。」

憔悴しきった生田アナに男はこの猟奇的な番組の進行を促す。

「あ、は、はい。」

生田アナは用意されていた椅子に座り、そこに再び机がセットされる。

すると画面は **VTR** に切り替わった。

「♪～今日の、ま〇こ～♪」

軽やかな、いつもこの番組で流れる音楽とともに、卑猥な言葉が流れてきた。

CGなどは女学院内にある機材で作れたのだろうが、ナレーションだけは生田アナが代わりに入れたのだろう。普段これと似た名前のコーナーのナレーションは生田アナではないアナウンサーが行っているため、その違和感があった。

「今日は、〇等部 〇年の今井陽子さん。私と同じ名前だから、選ばれてしまったようなのです。」

そのナレーションとともに桜葉女学院の制服を着たツインテールの子が映し出される。

「陽子ちゃんは、ずっとずっと「白馬に乗った王子様」が来るのを待っていました。」

ナレーションが続く中、画面の中の少女は「いや、やめて!」と後ずさりをしていく。

「しかし、そんな夢は儚くついえるのです。」

ついに少女は複数の男につかまり、スカートをまくられ、下着をはぎ取られ、誰にも見られたことのない処女膜を画面いっぱいにさらされる。

そして、少女のその小さな穴に入り切るとは思えない大きさの肉棒があてがわれ、一気に突き刺される。

「ぎゃー!い、痛い!ぬ、抜いて!!」

泣き叫ぶ少女に容赦なく男は肉棒を突き刺していく。

「処女を喪失してしまったあと、中に出されちゃう陽子ちゃんなのでした～」

ナレーションが終わるころ、男はその少女の穢れのなかった子宮へ欲望の塊である白い液を大量に流し込んでいた。

少女が絶望の中でぐったりしている映像がフェードアウトするとともに、中継は終了した。

(ここまでで 1900 字。本編は 32000 字に及ぶ大作です!!)